

子どもたちからの「えっ!」、大人の「おお!」「えっ!」

202508

1. 季節や行事と月

① 旧暦を教わったある5年生の季節感

In winter, we throw beans, saying, “Good luck in, demons out!”

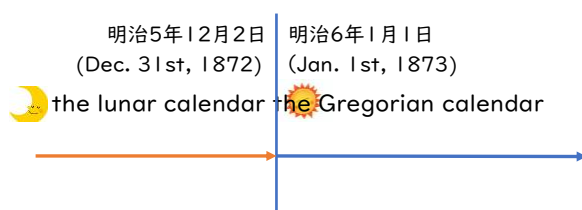
We celebrate Children’s Day in spring. We can see carp streamers.

という説明をきいて、月と季節が上手く結びつきませんでした。旧暦を知らない2年生の方が、月と季節が上手くおすびつけられ、適切な絵を選んでいました。

5年生曰く、「だって、1月、2月、3月は春、4月、5月、6月は夏だよ。」なるほど、旧暦の季節を良く学習している。

② the Lunar calendar と the Gregorian calendar

When did the Gregorian calendar start
in the lunar calendar?



The Gregorian calendar started on December 3rd, Meiji 5.

「旧暦は明治5年12月2日までで、翌日から明治6年1月1日になったのだったら、明治5年12月3日生まれの人誕生日はなくなるの?」という質問や、「明治5年の一年は、短いの?」という質問が出ました。

2. 子どもの読解力

Good Evening, Mr. Moon の絵本を読み聞かせしながら、“How many cats can you find?”, “What do they say to the moon?” と、やり取りしながら読み進んでいきました。2度目にお月さまと猫の “Good evening!”, “Good evening!” の会話では、Good night! と呟いていました。子どものストーリーの理解力は高いと感心しました。そして、ここで疑問が湧きました。では、お月さまが Good evening と言っているのは誰かと改めて気づかされました。

3. 子どもの周りの英語

夏休みの日記に「ゴムボートで川下りイベント、ラフティングを体験した。」と書きました。この一文に、カタカナ英語が3つも入っています。日本語は、川下りと体験したの2つです。ゴムボート、イベント、ラフティングは、英語では rubber boat, event, rafting ですが、その中で、ゴムは英語ではありません。カタカナ英語と見られても、そのまま英語になるとは限りません。

子どもの学習はこのくらいでしょうが、大人は、ラフティングと聞いて、「救命ボートはライフ・ラフト life raft だったかなあ」と想いを巡らします。lifeboat という英語表現もあります。日本語では同じでも、英語表現は違い、その意味も違ってきます。また、1 語か 2 語か語彙数が違います。言語の違い、面白いですね。

4. 街の中のアルファベット

ALPHABET CITY という本を見た後、小学 2 年生と 5 年生は、アルファベットカードで遊ぶよりも、家の中のアルファベットを探そうと動き出しました。「O はすぐ見つかるね!」、「床には H, T があるよ。」、「ドアに、E, L を見つけた。」と、O, E, H, T, L, X などたくさん見つかる文字と全然見つからない文字がありました。外に出て、橋の上では、A がありました。

